一般社団法人 日本応用数理学会

2026（令和 8）年度定時社員総会

日時：2026（令和 8）年 6 月 26 日（金）16:00 ～ 17:30

会場：国際文献社アカデミーセンター会議室（東京都新宿区山吹町）およびオンライン

議事：

- 第 1 号議案

  2025（令和 7）年度事業報告の件［1～4 頁］

- 第 2 号議案

  2025（令和 7）年度決算の件［5 頁～13 頁］

  2025（令和 7）年度監査報告の件［14 頁～17 頁］

- 第 3 号議案　役員選任の件

  （報告事項：選挙結果，任期満了）

  理事候補者

  相島 健助，井手 貴範，奥田 洋司，小林 領，坂上 貴之，尊田 嘉之，藤ノ木 健介，藤原 宏志，丸野 健一

  監事候補者

  高島 克幸

- 第 4 号議案

  2026（令和 8）年度事業計画の件[18 頁]

- 第 5 号議案

  2026（令和 8）年度予算の件［19 頁～21 頁］

終了後：

新フェロー任命式

2025 年度業績賞報告

第 22 回若手優秀講演賞表彰式

第 22 回研究部会連合発表会優秀講演賞表彰式

2026 年 5 月 22 日　理事会

一般社団法人日本応用数理学会 2025（令和 7）年度事業報告

本学会は 2025（令和 7）年度（2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）下記のとおり事業を行った。

1.　学会誌「応用数理」の刊行
35 巻 2 号（6 月）、3 号（9 月）、4 号（１２月）、36 巻 1 号（3 月）の 4 号を発刊した。
35 巻（1～4 号）の総頁数 311 頁　[385]
34 巻 1 号から、各記事の執筆者に原稿料の支払いを開始した。

2.　論文誌「日本応用数理学会論文誌」の刊行
35 巻２号（６月）、3 号（９月）、4 号（１２月）、36 巻１号（３月）の４号を電子版として J-Stage で公開した。35 巻（1～4 号の）の総頁数 117 頁 [159]

3.　Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集（年３回発刊）

4.　JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
Volume 16（31 篇）、Volume 17 (26 篇)を J-Stage で公開した。

5.　出版
シリーズ応用数理の続巻の企画を検討した。

6.　年会の開催
2025 年 9 月 2 日～4 日に対面（実行委員会:東京理科大学）で第 34 回年会を開催し、 678[599] の参加を得て盛会裡に終了した。（総合講演 2 件[2] 、オーガナイズドセッションおよび一般講演 306 件[335]、 ポスター発表 36 [33]、計 344 件[368]）

7.　研究部会の活動（次頁の研究部会一覧を参照）
(ア) 今年度は 24 研究部会の活動推進が行われた。
(イ) 2026 年３月 9 日～11 日に対面形式（実行委員会 : 東京大学、機械学習研究部会）で研究部会連合発表会を開催し、481 名[374]の参加を得て盛会裡に終了した。(講演 191 件[173])
(ウ) 研究部会活動報告を学会ウェブで公開した。

8.　各種委員会活動の推進

国際活動委員会、ネットワーク委員会、総務委員会等の諸活動が精力的に進められた。

9. 海外の応用数理学会との交流
   (ア) ANZIAM : MOU 締結
   (イ) ICIAM2025 ハノイへの参加
   (ウ) 応用数理学会年会における国際 OS の開催
   (エ) Finland との国際研究集会「Finland-Japan Workshop in Industrial and Applied Mathematics」後援
   (オ) KSIAM への若手研究者派遣
   (カ) ANZIAM への参加/招待講演者の派遣
   (キ) International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)のメンバー学会である。特に、ICIAM の公式ウェブサイト https://iciam.org/を運用している。
   (ク) オーストラリア数学会(AustMS)、 SIAM とは相互協定を締結している。

10. 他学会等との交流
   (ア) 日本数学会、統計関連学会連合とは懇談会を開催し、様々な活動で連携している。また、数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会を共同で開催している。
   (イ) 日本シミュレーション学会、日本計算工学会とは密接な情報交換を行った。
   (ウ) 横断型基幹科学技術研究団体連合、学術会議計算力学小委員会、日本計算力学連合（JACM）、HPCI コンソーシアム、男女共同参画協会連絡会、理論応用力学コンソーシアムのメンバー学会である。

11. 会員・賛助会員の現状（2026 年 3 月 31 日現在）
会員数は 1548 名[1,509]になった。
（入会 162 名（正 66、学 96）、退会 123 名（正 83　　40）（退会は，会員資格喪失者を含む））
賛助会員は 20 社 [20]　 37 口 [37]となった。（退会 0、口数変更 1）
個人賛助会員は、1 名[1]である。
名誉会員は 16 名[16]となった。

12. 表彰
   (ア) 論文賞（論文誌、JSIAM　Letters、JJIAM）4 件[6]を表彰した。
   (イ) ベストオーサー賞（学会誌）2 件[2]を表彰した。
   (ウ) 年会若手優秀講演賞 5 件[5]を表彰した。
   (エ) 年会優秀ポスター賞 4 件（最優秀賞 1 件含む）[3]を表彰した。
   (オ) 研究部会連合発表会優秀講演賞 3 件[3]を表彰した。
   (カ) 第 19 期フェロー6 名を任命した。
   (キ) 業績賞理論分野 2 件[0]、応用分野 0 件[1]を選考した。

13. 若手層・女性研究者との連携強化

（ア）NPO 法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクトが主催する「女子中高生夏の学校」が対面開催され、JSIAM 理事をはじめとする男女共同参画 WG メンバーが実行委員およびポスター展示・キャリア相談担当として参加した。

（イ）「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野異業種研究交流会 2025」を日本数学会、統計関連学会連合と共催した。

14
応用数理ものづくり研究会技術セミナー（第 11 期 6 回講演、懇談会 3 回を含む）を開催し 18 社[17]の参加を得た。

15. 協賛等
外部学協会等と 35 件[32]の協力関係を結んだ。

16. その他

（ア）稲盛財団からの寄附金により、国際的に活動する女性研究者を支援するために、稲盛財団基金積立金を設立し運用している。具体的には, ICIAM における Olga Taussky-Todd Lecture の支援にあてる。

（イ）理事会の開催されない月に理事連絡会を開催した。

備考：[　]は、2024 年度実績

日本応用数理学会　研究部会一覧

「ウェーブレット」研究部会
「応用カオス」研究部会
「応用可積分系」研究部会
「折紙工学」研究部会
「科学技術計算と数値解析」研究部会
「機械学習」研究部会
「行列・固有値問題の解法とその応用」研究部会
「計算の品質」研究部会
「産業における応用数理」研究部会
「数理医学」研究部会
「数理政治学」研究部会
「数理設計」研究部会
「数理的技法による情報セキュリティ」研究部会
「数理ファイナンス」研究部会
「数論アルゴリズムとその応用」研究部会
「ＣＡＥモデリングとデータ活用」研究部会
「離散システム」研究部会

「連続体力学の数理」研究部会
「若手の会」研究部会
「環瀬戸内応用数理」研究部会（地域研究部会）
「幾何学的形状生成」研究部会
「位相的データ解析」研究部会
「連続最適化」研究部会
「非線形問題の数値解法と可視化技術」研究部会

以上

貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般社団法人　日本応用数理学会
一般会計

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	31,538,973	34,074,427	△ 2,535,454
未収金	5,074,000	4,265,000	809,000
前払金	0	158,730	△ 158,730
流動資産合計	36,612,973	38,498,157	△ 1,885,184
２．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
固定資産合計	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	56,612,973	58,498,157	△ 1,885,184
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	169,226	4,239,563	△ 4,070,337
前受会費	7,086,000	7,221,000	△ 135,000
預り金	0	24,435	△ 24,435
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	101,500	0	101,500
流動負債合計	7,426,726	11,554,998	△ 4,128,272
負債合計	7,426,726	11,554,998	△ 4,128,272
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	49,186,247	46,943,159	2,243,088
正味財産合計	49,186,247	46,943,159	2,243,088
負債及び正味財産合計	56,612,973	58,498,157	△ 1,885,184

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人　日本応用数理学会
一般会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	129,000	94,000	35,000
正会員	48,000	36,000	12,000
学生会員	81,000	58,000	23,000
受取会費	18,686,250	18,285,750	400,500
正会員	15,861,250	15,669,750	191,500
学生会員	962,500	753,500	209,000
賛助会員	1,862,500	1,862,500	0
事業収益	8,404,494	7,623,659	780,835
応用数理定期購読料	235,235	242,385	△ 7,150
論文誌掲載料	200,000	320,000	△ 120,000
年会収益	4,578,500	4,505,000	73,500
セミナー収益	625,000	445,000	180,000
研究部会収益	2,324,000	1,701,000	623,000
著作権料収益	441,759	410,274	31,485
雑収益	63,108	41,659	21,449
経常収益計	27,282,852	26,045,068	1,237,784
(2) 経常費用			
事業費	15,117,281	17,024,791	△ 1,907,510
応用数理刊行事業費	5,973,154	6,670,886	△ 697,732
委託費	2,579,225	2,475,055	104,170
会議費	23,000	17,000	6,000
印刷製本費	2,890,459	3,499,487	△ 609,028
諸謝金	480,470	679,344	△ 198,874
論文誌刊行事業費	376,956	398,613	△ 21,657
委託費	376,956	398,613	△ 21,657
JSIAM-Letters刊行事業費	959,860	1,215,170	△ 255,310
委託費	959,860	1,215,170	△ 255,310
JSIAMOnlineMagazine刊行事業費	0	65,120	△ 65,120
委託費	0	65,120	△ 65,120
年会事業費	5,575,661	6,333,708	△ 758,047
人件費	584,892	355,090	229,802
委託費	2,054,613	2,462,405	△ 407,792
会議費	1,960,251	1,942,438	17,813
旅費交通費	1,000	0	1,000
通信運搬費	1,960	1,650	310
賃借料	735,030	1,293,016	△ 557,986
雑費	237,915	279,109	△ 41,194
セミナー事業費	137,279	200,274	△ 62,995
旅費交通費	67,600	2,227	65,373
賃借料	0	74,000	△ 74,000
諸謝金	69,679	122,507	△ 52,828
雑費	0	1,540	△ 1,540
研究部会事業費	2,094,371	2,141,020	△ 46,649
人件費	146,362	201,873	△ 55,511
委託費	1,368,146	1,243,798	124,348
会議費	42,009	63,995	△ 21,986
印刷製本費	140	0	140
賃借料	167,200	364,400	△ 197,200
諸謝金	162,114	152,524	9,590
雑費	208,400	114,430	93,970
管理費	9,922,483	9,095,680	826,803
JJIAM購入費	158,400	198,000	△ 39,600
活動促進費	288,305	188,935	99,370
関連団体等会費	452,056	308,992	143,064
保守費	2,037,805	1,879,706	158,099
事務委託費	6,071,959	5,802,295	269,664
委託費	4,204,409	4,269,130	△ 64,721
印刷製本費	97,470	96,892	578
通信運搬費	724,860	793,846	△ 68,986
消耗品費	25,740	46,447	△ 20,707
HP関係費	1,019,480	595,980	423,500
会議費	179,758	213,585	△ 33,827
雑費	414,690	288,207	126,483
法人関連経費	218,010	215,960	2,050
租税公課	101,500	0	101,500
経常費用計	25,039,764	26,120,471	△ 1,080,707
評価損益等調整前当期経常増減額	2,243,088	△ 75,403	2,318,491
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,243,088	△ 75,403	2,318,491
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,243,088	△ 75,403	2,318,491
一般正味財産期首残高	46,943,159	47,018,562	△ 75,403
一般正味財産期末残高	49,186,247	46,943,159	2,243,088
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	49,186,247	46,943,159	2,243,088

予算対比正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人　日本応用数理学会
一般会計

（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	70,000	129,000	△ 59,000
正会員	40,000	48,000	△ 8,000
学生会員	30,000	81,000	△ 51,000
受取会費	17,237,250	18,686,250	△ 1,449,000
正会員	14,666,750	15,861,250	△ 1,194,500
学生会員	720,500	962,500	△ 242,000
賛助会員	1,850,000	1,862,500	△ 12,500
事業収益	7,595,000	8,404,494	△ 809,494
応用数理広告料	75,000	0	75,000
応用数理定期購読料	240,000	235,235	4,765
論文誌掲載料	320,000	200,000	120,000
年会収益	4,500,000	4,578,500	△ 78,500
セミナー収益	460,000	625,000	△ 165,000
研究部会収益	1,500,000	2,324,000	△ 824,000
著作権料収益	500,000	441,759	58,241
雑収益	20,000	63,108	△ 43,108
経常収益計	24,922,250	27,282,852	△ 2,360,602
(2) 経常費用			
事業費	16,236,000	15,117,281	1,118,719
応用数理刊行事業費	6,470,000	5,973,154	496,846
委託費	2,200,000	2,579,225	△ 379,225
会議費	20,000	23,000	△ 3,000
印刷製本費	3,550,000	2,890,459	659,541
諸謝金	700,000	480,470	219,530
論文誌刊行事業費	400,000	376,956	23,044
委託費	400,000	376,956	23,044
JSIAM-Letters刊行事業費	1,166,000	959,860	206,140
委託費	1,166,000	959,860	206,140
年会事業費	6,000,000	5,575,661	424,339
人件費	6,000,000	584,892	5,415,108
委託費	0	2,054,613	△ 2,054,613
会議費	0	1,960,251	△ 1,960,251
旅費交通費	0	1,000	△ 1,000
通信運搬費	0	1,960	△ 1,960
賃借料	0	735,030	△ 735,030
雑費	0	237,915	△ 237,915
セミナー事業費	200,000	137,279	62,721
人件費	200,000	0	200,000
旅費交通費	0	67,600	△ 67,600
諸謝金	0	69,679	△ 69,679
研究部会事業費	2,000,000	2,094,371	△ 94,371
人件費	2,000,000	146,362	1,853,638
委託費	0	1,368,146	△ 1,368,146
会議費	0	42,009	△ 42,009
印刷製本費	0	140	△ 140
賃借料	0	167,200	△ 167,200
諸謝金	0	162,114	△ 162,114
雑費	0	208,400	△ 208,400
管理費	9,288,500	9,922,483	△ 633,983
JJIAM購入費	300,000	158,400	141,600
活動促進費	100,000	288,305	△ 188,305
関連団体等会費	190,000	452,056	△ 262,056
保守費	1,850,000	2,037,805	△ 187,805
事務委託費	5,968,500	6,071,959	△ 103,459
委託費	4,000,000	4,204,409	△ 204,409
印刷製本費	115,000	97,470	17,530
通信運搬費	800,000	724,860	75,140
消耗品費	30,000	25,740	4,260
HP関係費	1,023,500	1,019,480	4,020
会議費	250,000	179,758	70,242
雑費	300,000	414,690	△ 114,690
法人関連経費	230,000	218,010	11,990
租税公課	100,000	101,500	△ 1,500
経常費用計	25,524,500	25,039,764	484,736
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 602,250	2,243,088	△ 2,845,338
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 602,250	2,243,088	△ 2,845,338
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 602,250	2,243,088	△ 2,845,338
一般正味財産期首残高	46,943,159	46,943,159	0
一般正味財産期末残高	46,340,909	49,186,247	△ 2,845,338
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	46,340,909	49,186,247	△ 2,845,338

財産目録

2026年 3月31日現在

一般社団法人　日本応用数理学会

一般会計　　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
(流動資産)				
	預金	普通預金	運転資金として	28,506,544
		みずほ銀行根津支店　(普)／1140839		9,715,513
		みずほ銀行麹町支店　(普)／1282010		18,355,209
		三菱UFJ銀行(普)／0424593		251,151
		三井住友銀行(普)／2969442		184,671
		郵便振替	運転資金として	3,032,429
		会費用		3,032,429
	未収金			5,074,000
			会費収入(クレジット決済分)	2,645,000
			研究部会参加費(クレジット決済分)	2,309,000
			論文誌別刷	120,000
流動資産合計				36,612,973
(固定資産)				
基本財産				
	基本財産			20,000,000
		三菱UFJ銀行(定)／0036919		10,000,000
		三井住友銀行(定)／00692621		10,000,000
固定資産合計				20,000,000
資産合計				56,612,973
(流動負債)				
	未払金			169,226
		デジタルキューブ	ポスティングサービス料	10,362
		Google	Google Cloud Service使用料	41,800
		Amazon	Amazon Web Service使用料	115,084
		相隆社	学会HP SSL証明書	1,980
	前受会費			7,086,000
		正会員		6,007,000
		正会員（シニア）		551,500
		学生会員		277,500
		賛助会員（法人）		250,000
	未払法人税等		2025年度法人税	70,000
	未払消費税等		2025年度消費税	101,500
流動負債合計				7,426,726
負債合計				7,426,726
正味財産				49,186,247

貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般社団法人　日本応用数理学会
国際交流事業会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
特定資産合計	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
固定資産合計	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
資産合計	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
Ⅱ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
正味財産合計	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
負債及び正味財産合計	10,878,600	11,809,763	△ 931,163

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人　日本応用数理学会
国際交流事業会計　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	0	13,806,216	△ 13,806,216
国際交流事業収	0	13,806,216	△ 13,806,216
雑収益	19,897	5,343	14,554
経常収益計	19,897	13,811,559	△ 13,791,662
(2) 経常費用			
事業費	951,060	2,458,151	△ 1,507,091
国際交流事業費	951,060	2,458,151	△ 1,507,091
委託費	227,700	2,126,008	△ 1,898,308
会議費	31,500	0	31,500
旅費交通費	419,000	319,841	99,159
諸謝金	270,000	0	270,000
雑費	2,860	12,302	△ 9,442
経常費用計	951,060	2,458,151	△ 1,507,091
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 931,163	11,353,408	△ 12,284,571
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 931,163	11,353,408	△ 12,284,571
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 931,163	11,353,408	△ 12,284,571
一般正味財産期首残高	11,809,763	456,355	11,353,408
一般正味財産期末残高	10,878,600	11,809,763	△ 931,163
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	10,878,600	11,809,763	△ 931,163

予算対比正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人　日本応用数理学会
国際交流事業会計　（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	1,000	19,897	△ 18,897
経常収益計	1,000	19,897	△ 18,897
(2) 経常費用			
事業費	230,000	951,060	△ 721,060
国際交流事業費	230,000	951,060	△ 721,060
委託費	230,000	227,700	2,300
会議費	0	31,500	△ 31,500
旅費交通費	0	419,000	△ 419,000
諸謝金	0	270,000	△ 270,000
雑費	0	2,860	△ 2,860
経常費用計	230,000	951,060	△ 721,060
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 229,000	△ 931,163	702,163
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 229,000	△ 931,163	702,163
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 229,000	△ 931,163	702,163
一般正味財産期首残高	456,455	11,809,763	△ 11,353,308
一般正味財産期末残高	227,455	10,878,600	△ 10,651,145
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	227,455	10,878,600	△ 10,651,145

財産目録

2026年 3月31日現在

一般社団法人　日本応用数理学会
国際交流事業会計　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
(固定資産) 特定資産	特定資産	みずほ銀行(普)／3000023	国際交流事業運営資金として	10,878,600 10,878,600
固定資産合計				10,878,600
資産合計				10,878,600
正味財産				10,878,600

貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般社団法人　日本応用数理学会
稲盛財団基金会計　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産	2,505,182	2,500,817	4,365
特定資産合計	2,505,182	2,500,817	4,365
固定資産合計	2,505,182	2,500,817	4,365
資産合計	2,505,182	2,500,817	4,365
Ⅱ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	2,505,182	2,500,817	4,365
正味財産合計	2,505,182	2,500,817	4,365
負債及び正味財産合計	2,505,182	2,500,817	4,365

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人　日本応用数理学会
稲盛財団基金会計　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	4,365	1,167	3,198
経常収益計	4,365	1,167	3,198
(2) 経常費用			
経常費用計	0	0	0
評価損益等調整前当期経常増減額	4,365	1,167	3,198
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,365	1,167	3,198
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,365	1,167	3,198
一般正味財産期首残高	2,500,817	2,499,650	1,167
一般正味財産期末残高	2,505,182	2,500,817	4,365
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	2,505,182	2,500,817	4,365

予算対比正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人　日本応用数理学会
稲盛財団基金会計　（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	4,365	△ 4,365
経常収益計	0	4,365	△ 4,365
(2) 経常費用			
経常費用計	0	0	0
評価損益等調整前当期経常増減額	0	4,365	△ 4,365
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	4,365	△ 4,365
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	4,365	△ 4,365
一般正味財産期首残高	2,500,817	2,500,817	0
一般正味財産期末残高	2,500,817	2,505,182	△ 4,365
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	2,500,817	2,505,182	△ 4,365

財産目録

2026年 3月31日現在

一般社団法人　日本応用数理学会
稲盛財団基金会計　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
(固定資産) 特定資産	特定資産	三菱UFJ銀行(普)／0860997	稲盛財団基金運営資金として	2,505,182 2,505,182
固定資産合計				2,505,182
資産合計				2,505,182
正味財産				2,505,182

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

（１）　消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

附属明細書

１．該当事項なし

一般社団法人　日本応用数理学会
代表理事　伊藤　聡様

2025(令和7)年度　税務監査報告書

2025(令和7)年度の会計につき税務監査の結果を以下の通りご報告いたします。

年　度：第14期、自2025(令和7)年4月1日　至2026(令和8)年3月31日
実施日：2026(令和8)年5月6日(水)
方　法及び確認事項：
原始資料との突合、預貯金残高の検証、帳表類の保管状況の確認、総勘定元帳と決算書の残高の照合、源泉所得税の徴収・納税状況の確認及び資産負債の細目及び内訳の確認など

結　果：領収書や請求書などの原始資料が月別かつ日毎に整理され、日々の金銭による収支は複式簿記により適切に処理されています。
預貯金残高は通帳の金額と合致しており、報酬及び人件費の源泉所得税の徴収及び納付状況も適正です。また、2024年度の法人都民税の納付がされていることを確認し、2025年度の消費税及び法人都民税が2025年度において未払計上さていることを確認いたしました。

2025年度の消費税の課税売上が約656万円であることを仕訳データより確認いたしました。
なお、2023年度の消費税の課税売上が10,271,910円であったことから、2025年度については消費税の課税事業者となっております。
また、人件費の源泉所得税の徴収、納付が適切に行われていることを確認致しました。

所　見：
1. 当期の特徴
（1）一般会計
前期と比較した際の当期の会費収入は前期の約102％(金額にして40万年円の増加)となっております。事業収益については、今期は前期と同様年会収益があったことや研究部会収益が増加したことにより、前期と比較して約78万円増加しております。
経常費用全体については前期と比較し、約190万円減少しております。印刷製本費・賃借料が減少、管理費のうちHP関係費が増加しておりますが個別の費用項目というよりも全体的に費用が減少していることが影響しております。
結果、正味財産の増加は約224万円の増加となっております。

また、予算と実績との比較では、経常収益について予算と比較し受取会費、年会収益が236万円増加しております。

（2）国際交流事業

収入については、預金利息の雑収益19,897円となっております。

費用は国際OSの宿泊代や謝金があったことにより951,060円となっております。

今期の経常増減額931,163円の赤字となっております。

2. 法人税・地方法人税、法人都民税の申告

収益事業がある場合は、収益事業の収支について法人税・地方法人税・法人都民税の申告をする必要があります。学術団体の場合、企業展示や非会員への論文集販売などが該当します。また、年間の収入金額が8,000万円を超える場合は一定の計算書類を提出する必要があります。

法人税の申告がございます。収益事業については赤字のため決算における税金については昨年と同様、法人都民税の均等割7万円のみとなっております。

法人都民税については、都内に事務所や事業所などがある法人に課税される税金で、「法人税割」と「均等割」からなっています。総務省のＨＰによれば均等割について『均等割とは読んで字のごとく、法人であれば等しく払う義務のある税金です。「等しい額」といっても世界にも進出している大きな法人と地域密着型の法人とでは、法人の規模が違います。そのため、都道府県民税では法人の資本金等の額で、市町村民税では法人の資本金等の額と従業者数で払う税金の額が分けられています。このように法人の規模に応じて区分けした上で、同一区分内においては同一の額を法人に課しています。

均等割と法人税割の決定的な違いとしては、法人税割は国に法人税を納めている法人、つまり黒字の法人だけが払うのに対して、均等割は赤字の法人も払わなければならないということです。言い換えると、均等割は、法人がどれだけ儲けたかに関係なく、地域社会の一員として支払う会費という性格が強いといえます。』との説明がなされております。

3. 消費税・インボイス制度（適格請求書発行事業者の登録）

（1）消費税の確認

売上

・会費については対象外で処理されていることを確認し、学会誌・展示収入など課税売上げとして処理すべきものが適切に処理されているか確認しました。

仕入（費用）

・免税事業者への支払いについて、経過措置の期間に該当する割合（80％）で仕入税額控除をすることを確認しました。

・テイクアウトなど消費税の軽減税率の対象となる取引について適切に処理されていることを確認しました。

（2）課税事業者と適格請求書発行事業者

2023年度の課税売上は1,027万円となっており国際会議におけるブース展示が課税売上となり約747万円あったことが影響しております。消費税の納税義務についてはその課税期間の基準期間（法人は原則として前々事業年度）における課税売上高および特定期間における課税売上高等が1,000万円以下の事業者は、課税事業者となることを選択した場合や、適格請求書発行事業者として登録を受けている場合を除き、原則として、その課税期間の納税義務が免除されています。従いまして、今期は消費税の課税事業者となります。

なお、今期はデータ上課税売上が約656万円でしたので、適格請求書発行事業者に登録がなければ2027年度は免税事業者となります。

令和5年10月から消費税インボイス制度が導入されております。上記繰り返しとなりますが、免税事業者（基準期間の課税売上高が1,000万円以下の事業者）という扱いがインボイス制度の導入によって廃止されるわけではありませんが、適格請求書発行事業者に登録すると課税売上高の金額の多寡にかかわらず消費税の課税事業者となります。

なお、税制改正により
免税事業者からの仕入れに係る経過措置の延長と変更（7・5・3割控除）免税事業者等からの仕入れにつき、仕入税額控除が可能な割合の期限が2年延長されました。
令和8年10月1日～：70%控除（改正前は50%予定）
令和10年10月1日～：50%控除
令和12年10月1日～：30%控除
令和13年10月1日～：控除不可

2025（令和8）年5月15日
東京都千代田区神田小川町3丁目26番8
ＡｔａＧＯ税理士
担当　税理士　飯塚
TEL03-6803－3931

印影保護のためフォーマットのみを示します。
実物は総会当日、共有画面でお見せします。

監　査　報　告

2026 年　5 月　15 日

一般社団法人日本応用数理学会
　会長　伊藤　聡　殿

一般社団法人日本応用数理学会

監事　　成島　康史
監事　　花谷　嘉一

私たちは、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの会計年度における監査を行い、次のとおり報告する。

１．監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

２．監査意見

(1) 収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示していると認める。

(2) 業務報告の内容は正しく示しているものと認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為または定款により指摘すべき事項はないと認める。

以上

2026 年 5 月 22 日　理事会

一般社団法人 日本応用数理学会 2026（令和 8）年度事業計画（案）

本学会は 2026（令和 8）年度（2026 年 4 月 1　　2027 年 3 月 31 日まで）下記のとおり事業を行う予定である．

１．会誌「応用数理」の刊行（６月，９月，１２月，３月）
３．電子版「日本応用数理学会論文誌」の刊行（６月，９月，１２月，３月）
４．Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集
５．JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
６．出版
・シリーズ・応用数理　出版検討
７．年会の開催
・9 月 15 日～17 日　福岡国際会議場
８．研究部会の育成促進
・研究部会連合発表会（城西大学）の開催
９．各種委員会活動の推進
１０．国際活動
・International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)への貢献および海外の応用数理関連学会との交流，協力の推進
・稲盛財団基金積立金の適切な運用による，国際的に活動する女性研究者の支援。具体的には，ICIAM2027 における Olga Taussky-Todd Lecture の支援。
１１．応用数理関連他学会との交流の推進
１２．会員・賛助会員の増強に向けたサービス向上とコミュニティーの拡大
１３．表彰
フェローの任命，業績賞，論文賞（和文論文誌，JJIAM，JSIAM Letters），学会誌ベストオーサー賞，年会若手優秀講演賞・ポスター賞，研究部会連合発表会優秀講演賞の表彰および各種日本応用数理学会賞等の立ち上げの検討
１４．若手層・女性研究者の学会参加の促進
１５．産業界・社会との交流促進と連携強化
１６．数理科学振興の政策課題の検討
１７．一般社会への応用数理・数理科学の広報と啓蒙・教育活動
１８．その他
以上

収支予算案

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

一般会計　　（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	差 異	備 考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	110,000	70,000	40,000	過年度実績を参考に計上
正会員	50,000	40,000	10,000	正会員入会金：2,000円×25名見込
学生会員	60,000	30,000	30,000	学生会員入会金：1,000円×60名見込
受取会費	17,295,250	17,237,250	58,000	2026年2月16日時点会員数を根拠に計上
正会員	14,632,250	14,666,750	△ 34,500	
正会員	13,787,500	13,800,000	△ 12,500	当年度会費：12,500円×(1198名×90%) 過年度会員：12,500円×25名見込
シニア会員	836,000	858,000	△ 22,000	当年度会費：11,000円×(84名×90%)
SIAM会員	8,750	8,750	0	当年度会費：8,750円×(1名×100%)(30%減免対象)
学生会員	913,000	720,500	192,500	当年度会費：5,500円×(207名×80%)
賛助会員	1,750,000	1,850,000	△ 100,000	当年度会費：50,000円×(18社35口×100%)
事業収益	7,935,000	7,595,000	340,000	
応用数理広告料	75,000	75,000	0	応用数理36巻1-4号分
応用数理定期購読料	240,000	240,000	0	応用数理36巻1-4号分（715円×84件見込×4号分）
論文誌掲載料	320,000	320,000	0	論文誌36巻2-4号・37巻1号分(40,000円×2件見込×4号分)
年会収益	4,500,000	4,500,000	0	2026年度年会参加費・企業展示等(過年度実績をもとに計上)
セミナー収益	600,000	460,000	140,000	ものづくり研究会第13期技術セミナー（過年度実績をもとに計上）
研究部会収益	1,700,000	1,500,000	200,000	第23回研究部会連合発表会参加費(過年度実績をもとに計上)
著作権料	500,000	500,000	0	学術著作権協会、近代科学社、科学技術振興機構（過年度実績をもとに計上）
雑収益	30,000	20,000	10,000	普通預金利息、定期預金利息など(利率上昇に伴い増額)
経常収益計	25,370,250	24,922,250	448,000	
(2) 経常費用				
事業費	16,775,000	16,236,000	539,000	
応用数理刊行事業費	6,775,000	6,470,000	305,000	
委託費	2,500,000	2,200,000	300,000	応用数理36巻2-4号・37巻1号分編集業務委託経費、J-STAGE経費(国際文献社)
会議費	25,000	20,000	5,000	
印刷製本費	3,550,000	3,550,000	0	応用数理36巻2-4号・37-1号分(4号分)(国際文献社)
諸謝金	700,000	700,000	0	応用数理36巻2-4号・37巻1号分原稿料(過年度実績をもとに計上)
論文誌刊行事業費	400,000	400,000	0	
委託費	400,000	400,000	0	論文誌36巻2-4号・37巻1号分ｵﾝﾗｲﾝ査読ｼｽﾃﾑ使用料、J-STAGEｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ作業(三秀舎)
JSIAM-Letters刊行事業費	1,200,000	1,166,000	34,000	
委託費	1,200,000	1,166,000	34,000	JSIAM-Letters編集業務委託費、J-STAGE経費(国際文献社)、J-STAGE投稿審査ｼｽﾃﾑ利用料
年会事業費	6,000,000	6,000,000	0	2026年度年会開催経費(過年度実績をもとに計上)　内委託費約2,200,000円(国際文献社)
セミナー事業費	200,000	200,000	0	ものづくり研究会第13期技術セミナー、異分野・異業種研究交流会等
研究部会事業費	2,200,000	2,000,000	200,000	第23回研究部会連合発表会開催経費(過年度実績をもとに計上)
管理費	9,745,000	9,288,500	456,500	
JJIAM購入費	200,000	300,000	△ 100,000	JJIAM賛助頒布分購入費(Springer)
活動促進費	300,000	100,000	200,000	男女参画分担金、学会賞関係費用、広報関係費用等
関連団体等会費	570,000	190,000	380,000	横幹連合50,000円、理論応用力学20,000円、ICIAM会費USD3,200.00(円安傾向を考慮して計上)
保守費	1,850,000	1,850,000	0	GoogleCloudService使用料34,000円×12カ月、AmazonWebService使用料115,000円×12カ月、 ﾎｽﾃｨﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ料6,160円×12カ月(過年度実績をもとに計上)
事務委託費	5,845,000	5,968,500	△ 123,500	
委託費	4,300,000	4,000,000	300,000	4-3月分業務委託費4,100,000円、選挙関連委託費200,000円(国際文献社)(過年度実績をもとに計上)
HP関係費	600,000	1,023,500	△ 423,500	WEB保守費50,000円×12カ月
印刷製本費	115,000	115,000	0	4-3月分封筒代100,000円、ｺﾋﾟｰ代実費15,000円(国際文献社)
通信運搬費	800,000	800,000	0	4-3月分発送手数料・送料250,000円、学会誌4号分発送手数料・送料550,000円(国際文献社)(送料値上げによる増額)
消耗品費	30,000	30,000	0	4-3月分封筒代等(国際文献社)(過年度実績をもとに計上)
会議費	250,000	250,000	0	Zoom使用料等
雑費	400,000	300,000	100,000	各種手数料(振込手数料・みずほﾌｧｸﾀｰ手数料・ｸﾚｼﾞｯﾄ決済手数料等)
租税公課	100,000	100,000	0	消費税暫定
法人関連経費	230,000	230,000	0	監査対応報酬(AtaGO税理士法人)110,000円、登記変更費用50,000円、都民税均等割り70,000円
経常費用計	26,520,000	25,524,500	995,500	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,149,750	△ 602,250	△ 547,500	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 1,149,750	△ 602,250	△ 547,500	
２．経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,149,750	△ 602,250	△ 547,500	
一般正味財産期首残高	46,340,909	46,943,159	△ 602,250	
一般正味財産期末残高	45,191,159	46,340,909	△ 1,149,750	
Ⅱ正味財産期末残高	45,191,159	46,340,909	△ 1,149,750	

収支予算案

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

国際交流事業会計　　（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	差 異	備 考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
(1) 経常収益				
雑収益	20,000	1,000	19,000	普通預金利息(利率上昇に伴い増額)
経常収益計	20,000	1,000	19,000	
(2) 経常費用				
事業費	0	230,000	△ 230,000	
国際交流事業費	0	230,000	△ 230,000	
委託費	0	230,000	△ 230,000	
経常費用計	0	230,000	△ 230,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	20,000	△ 229,000	249,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	20,000	△ 229,000	249,000	
２．経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	20,000	△ 229,000	249,000	
一般正味財産期首残高	11,580,763	11,809,763	△ 229,000	
一般正味財産期末残高	11,600,763	11,580,763	20,000	
Ⅱ正味財産期末残高	11,600,763	11,580,763	20,000	

収支予算案

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人日本応用数理学会

稲盛財団基金会計　　（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	差 異	備 考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
(1) 経常収益				
雑収益	4,000	0	4,000	
経常収益計	4,000	0	4,000	
(2) 経常費用				
経常費用計	0	0	0	
評価損益等調整前当期経常増減額	4,000	0	4,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	4,000	0	4,000	
２．経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	4,000	0	4,000	
一般正味財産期首残高	2,499,650	2,499,650	0	
一般正味財産期末残高	2,503,650	2,499,650	4,000	
Ⅱ正味財産期末残高	2,503,650	2,499,650	4,000	